



## ほろいずみ ニュース No. 150

発行:えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日:令和2年2月4日  
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地  
TEL:01466-2-2410 E-mail:erimomus@cocoa.ocn.ne.jp  
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

### ◆ 冬の体験陶芸教室 ◆

陶芸が初めての方も、この機会に挑戦してみませんか？

マグカップやお皿など、各自好きなものを作りましょう！

と き：2月27日、3月5日、3月19日 毎週木曜日  
(全行程3回)

時 間：午前の部： 9時30分～12時  
夜の部：18時30分～21時

会 場：えりも町郷土資料館 体験学習室

参加費：粘土1kgにつき500円(黒粘土は、600円)

※1人2kgまで

定 員：各15名(先着順、小学生以下は保護者同伴)

※参加申込、お問合せは、

郷土資料館(2-2410)まで



## 地名の由来 ～笛舞～

笛舞の語源は、「フイマイ」もしくは「フイマフ」であると言われています。

現在、下笛舞のバス停付近あたりです。

フイマイならば、語源は「パイ・オマ・ヒ」(Puy-oma-hi エゾノリュウキンカの根・ある・所)。

フイマフならばパイオマフ「パイ・オマ・プ」(Puy-oma-p エゾノリュウキンカの根・ある・川)となります。

エゾノリュウキンカは別名：ヤチブキといい、山菜として食べられています。アイヌの人々はその葉や根を茹でて食べたり、根を煎じた汁を塗り薬として利用したそうです。

松浦武四郎は「フイマフ。小沢。此の沢に流泉花(エゾノリュウキンカ)有り、故(ゆえ)に号く(ごうく→名づける)」と記しており、昔からこの場所にエゾノリュウキンカがあったようです。



写真：笛舞地区(笛舞小学校前の国道)

## 郷土資料館講演会報告



伊藤学芸員の話真剣に聞く参加者

1月22日木曜日、講師に帯広百年記念館学芸員の伊藤彩子氏をお迎えし、「ひみつを知ると好きになる！？昆虫のくらしとつながり」を福祉センター中会議室で行いました。

講師からは、「重要な役割をもつ昆虫(腐食性昆虫・糞虫)」、「身近で嫌われ者(ハエ)」、「身近な外来生物(モンシロチョウ・カブトムシ)」など6項目について説明。

昆虫は嫌われ者のイメージが強いが、人間にとっては切っても切り離せない関係であること、最近では、法医学の分野でも注目され(法医昆虫学)、昆虫の分布や生育速度などから、事件現場や時刻の推定をはじめ、貴重な証拠の特定に活用されているなどを学びました。

講演の終盤は、虫を表す漢字・読み方などが出題され、参加者は楽しい時を過ごしました。

2/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
わらしゃんど事業	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	3/1	2	3	4	5
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	体験陶芸教室	○	○	○	○	休館日	○	○

2月～3月の  
開館カレンダー